

次期の見通し(2018年3月期)

売上収益

2,360億円 前期比 **3.6%減**

多発性骨髄腫治療剤「カプロリス点滴静注」、二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「パーサビブ静注透析用」などの主要新製品の売上拡大を見込んでいます。また、抗悪性腫瘍剤「オプジーボ点滴静注」のロイヤルティ収入の増加を見込んでいるものの、2017年2月に薬価改定のあったオプジーボの売上減少から、次期の売上収益は前期比88億円(3.6%)減の2,360億円を予想しています。

営業利益

365億円 前期比 **49.5%減**

ロイヤルティ収入増により、売上原価率は低下する見込みです。費用面では、オプジーボ関連の研究開発費が増加、またパーサビブなどの新製品やオプジーボ関連の活動経費増などにより、販売費及び一般管理費も増加する見込みです。また、今期に計上した訴訟和解一時金が次期には発生しないことから、次期の営業利益は前期比358億円(49.5%)減の365億円を予想しています。

税引前当期利益

390億円 前期比 **47.7%減**

金融収支は前期比3億円減少の25億円を見込んでおり、次期の税引前当期利益は前期比355億円(47.7%)減の390億円を予想しています。

親会社の所有者に帰属する当期利益

290億円 前期比 **48.0%減**

税引前当期利益が355億円減少することにより、次期の親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比268億円(48.0%)減の290億円を予想しています。